

懐風館高校 令和4年度第2回学校運営協議会 議事録

- 1 日 時 令和4年11月18日(金) 14:00~16:00
- 2 出席委員 5名
大関会長 森井委員 松村委員 阪本委員 棚瀬委員
- 3 報 告 (1) 令和4年度学校経営計画進捗状況

(2) 広報について
- 4 協議事項

第1号議案 懐風館高校スクールミッション(案)について
⇒賛成5・反対0により、議決。

5 報告及び協議記録

<事務局より報告>

▲令和4年度学校経営計画の進捗状況について(校長より)

- ・「朝学」を2学期から再開し、クロームブックを活用した学びを実施。
- ・羽曳野市中学校総体に各部顧問が広報・連携活動に出向き、羽曳野市民文化祭には書道部、美術部、写真部が参加するなど、地域との連携・交流は計画通り進んでいる。
- ・教員研修、公開授業、研究授業は計画通り実施。
- ・教育庁のSSW事業を活用し教育相談体制の充実に取り組んでいる。

▲学校説明会で使用しているパワーポイントの資料で広報について説明。

<スクールミッション案について説明>

▲校種・立地・理念に相当する内容、社会的な期待、めざす教育、特色・強み・独自性の4つの要素を勘案して作成。

▲懐風館高校は南河内全域から生徒が集まり、卒業後も地元の企業や大学・短大など地域に残る生徒が多いことが特徴である。地域とともに歩み、地域で信頼され活躍できる人材を育成することをスクールミッション案の柱とした。

<協議での質問・意見> □・・・学校運営協議会委員 ▲・・・事務局

□スクールポリシーへと繋がる部分で「コミュニケーション能力を高める」とあるが、どのようなコミュニケーション能力かをもう少し明確にした方がよい。

▲人と人をつなぐ社会的コミュニケーション能力の育成が大切だと考えている。文言として取り入れる事を検討する。

□スクールポリシーの短い文では表現が難しいかもしれないが、生徒たちが学校に帰属意識を持ち、「チーム懐風館」として学校力を高めることが大切だ。

□様々な困難や課題を抱えている生徒が増えている状況の中で、一人ひとりの生徒をしつかりと支援していくために、今後も支援教育や人権教育を大切にした取り組みを進めてもらいたい。